



## ～暮らしを守り、希望をつくる～

### 令和4年度札幌市予算編成に対する要望書を提出

令和3年12月9日、札幌市議会公明党議員会は、令和4年度の予算編成に対する要望書を秋元市長に提出しました。

今回の要望書は「新型コロナウイルス感染拡大防止と社会経済活動の両立を求める要望」もかねたものであります。

3回目の新型コロナワクチンの円滑な接種や後遺症に苦しむ方への相談体制の構築、マイナンバーカードの普及促進、小樽市やニセ

コなど近隣自治体のスノーリゾートとの連携を強めた大規模な観光施策の推進、さらには近年、甚大化する災害への対応強化とインフラの老朽化対策など、重点要望項目及び要望項目を6つの柱で構成し162項目にまとめ提出しました。

それに対し秋元市長は、私たちの要望をしっかりと受け止め新年度予算に反映すると答えました。

# 代表質問で数々の提言!

令和3年  
第2～4回定例市議会



森山ゆみこ議員 (西区)  
第2回定例市議会  
令和3年7月2日

**Q** インクルーシブ (社会的包摂) の考えに基づく公園整備について、市の考え方を伺う。

**A** 車椅子に乗ったまま遊べる砂場や、親子が一緒に乗れるブランコといった遊具を用意するなど、誰もが一緒に楽しめるインクルーシブの視点はこれからの公園整備に重要になると考える。今後は先行事例の調査を進め、工夫を重ねていきたい。

**Q** 多様化する教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育の充実の為、今後、特別支援教育をより進展させていく取組をどう進めていくか。

**A** 子どもの能力や可能性を最大限に伸ばすことができるよう今後とも、多様なニーズに応じた学びの実現を目指し、障がいのあるなしに関わらず全ての子どもが共生社会の一員としてより身近な地域で共に学び育つ特別支援教育の充実に努めてまいる。



前川たかし議員 (白石区)  
第3回定例市議会  
令和3年9月28日

**Q** 今後の水害対策についてどう考えているか。

**A** 「内水氾濫」と「洪水」の情報を一つのハザードマップで確認できる「札幌市浸水ハザードマップ」を策定する。令和3度末に公表し地域防災力の向上に努めたい。

**Q** AI (人工知能) を活用した先駆的な取組についての考えは。

**A** 防災・減災対策として、避難所までの被災状況の把握や安全なルートへの誘導などへのAI導入の検討を進めたい。また、市街でのヒグマ出没対策として、自動撮影カメラを増設し、AIによる顔認証システムを応用したヒグマの個体識別や市民への迅速な情報提供など、人間が対応できない部分を補う活用を進める考え。さらにコロナ禍により、出会いの場が減少し札幌市の婚姻届出数が1万を割りこみ、将来の札幌市を考えると大きな課題と認識。出会いや結婚など若者の理想のライフプラン実現へAIを活用した婚活支援を検討する。



くまがい誠一議員 (中央区)  
第4回定例市議会  
令和3年12月3日

**Q** 今後、高齢の方を介護するケアラーへの市民の理解を深めていく必要性について、どのように認識しているか。

**A** 市民一人一人が介護に対する理解を深め、ケアラーの存在に気付き、支援につなげていくことが重要だと認識しており、行政と地域や関係機関と連携しケアラーを支える地域づくりを進めていくとともに、広く市民に向けた啓発を行う事により、ケアラー支援への理解を深めていきます。  
※ケアラーとはケアの必要な家族や近親者、友人、知人を無償で介護する人

**Q** コロナ禍において、小中学生・高校生の不登校自殺者数がともに過去最多となる中、子どもたちが人とのつながりを実感し、命を大切にする教育についてどのように取り組むか。

**A** 感染症対策による制約が続く中、どのような状況下でも、子ども一人一人が命の大切さを実感できるよう、オンラインと対面での授業などを適切に組み合わせながら人とのつながりを深め、全ての教育活動において人間尊重の教育を基盤に取組を進めていきます。

# 公明の主張により多くの政策が実現!

公明がこれまで粘り強く主張し実現に向け取り組んできた数々の政策が新年度より続々とスタートします。主なものをご報告いたします。

## 3回目のコロナワクチン接種を受けやすい体制を拡充!



3回目のコロナワクチン接種について、700を超える医療機関での個別接種の実施と各区へ集団接種会場を開設し、市民に着実な接種を推進します。

## デジタル局の新設をリード! デジタルを活用し市民サービス向上を!



デジタル技術を活用し、暮らしの向上や新たなイノベーションにより、新しいまちづくりを推進するため「(仮称)デジタル局」を令和4年度に市に新設します。

## コロナ禍に苦しむ観光産業に追い風を「サッポロ割」を実現!



他都市との往来自粛の中、札幌市民が地元札幌で宿泊や食、観光地などを楽しむ内需(地域内循環)型の観光スタイル「サッポロ割」を実施します。

## 避難所備蓄物資の充実強化を実現!



避難所の備蓄物資の食料が従前の3食分から6食分に、温かいお粥やカセットコンロも加えられ、また、乳幼児の命をつなぐ「液体ミルク」が初めて導入されました。

## 子どもの見守りを強化!



宅食や子ども食堂等を通じて子どもの見守りや子育て支援を進める団体等への「子ども見守り強化事業補助金制度」が新たに創設されました。

## ながら防犯事業を今春から本格実施!



地域の安全対策に取り組む登録制度を実施。登録者にはバッジ・ステッカー等を配布し、地域の防犯力の向上を目指します。

## 脱炭素型ライフスタイルを推進!



環境に配慮した行動がエコポイントとなるスマホアプリがスタート。ポイントはWAON電子マネーなどに交換できます。

## 文化芸術の支援の充実!



コロナ禍での文化芸術活動を支えるため、補助対象の拡大と事業予算の拡充(約3億円追加)を実現しました。

## 除雪体制の課題解決に尽力!



生活道路の新たな除雪方法検討のための施行実施を全10区のモデル地区にて開始。持続可能な雪対策を目指します。

## 新型コロナ経口薬の処方体制を整備!



新型コロナの経口薬が承認され、発熱外来等の医療機関を中心に診療・検査・処方が可能となり、重症化防止が大いに期待されます。



# 誰もが希望を持てるさっぽろに!



## 公立夜間中学「札幌市立星友館中学校」今春開校!

北海道初の公立夜間中学「札幌市立星友館(せいゆうかん)中学校」が、令和4年4月開校します。全国初の「単独校」の公立夜間中学であり「学び直し」の場として大きな期待が寄せられています。

日本国内には、戦後の混乱やひきこもり、いじめ、不登校、病気や家庭環境など、様々な理由で十分に教育の機会を得られなかった方が数万～数十万人いるとも

言われており、基礎的な学力が習得できていない為に、多くの方が自分自身に自信を持てずに苦しんでいるとされています。

星友館中学校は、目指す姿を『生徒の誰もが安心して、学びの主役となれる多様性を尊重する学校』としています。SDGsの理念に基づく「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す学び舎としての教育を目指します。

## 「都心に冬の新たな魅力が誕生」



スマイルリンクさっぽろ実行委員会

平成29年決算特別委員会にて都心部にウィンタースポーツのまち札幌にふさわしい体験型観光コンテンツとなるスケートリンクの設置を提言し、その後も実施に向け取組んできたところ、北3条広場“アカプラ”に今年の2月4日から10日間(予定)「スマイルリンクさっぽろ」がオープンすることになりました。現在、光と音の演出や家族向けの企画を検討中です。札幌の冬に新たな魅力が誕生します。

## 生活困窮者や子育て世帯を応援!

新型コロナウイルス感染症の影響等により、生活に困窮される方々の就労による自立を図るための生活困窮者自立支援金について、影響の長期化と世界的なエネルギー価格の高騰などを考慮し、市が上乘せして支援する付加給付を実現しました。

実施する子育て世帯への臨時特別給付金(18歳以下1人10万円)について、札幌市は一括現金給付とすることになりました。

また、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金(1世帯10万円)の支給も実施いたします。

